

PTA

HANDBOOK

ピーティーエーハンドブック

フレフレ
コドモッ



Drawing: Kazuya Mouri

Parents.....親
Teacher.....先生
Associate.....つながり

1.

PTAってなあに？



PTAとは、

P arents	親
T eacher	先生
A ssociate	つながり

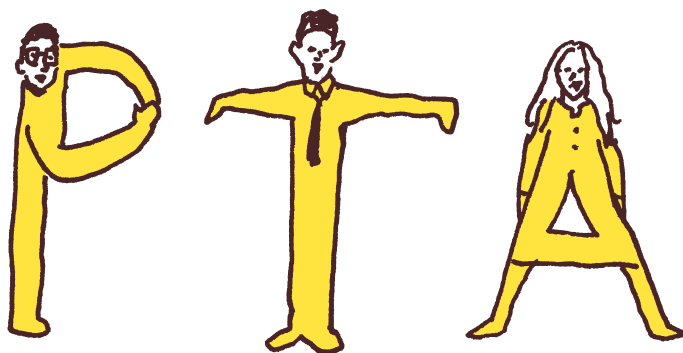
の略語です。

保護者と学校が「子どもたちの健やかな育ち」にとっての「最良」を考え、行動する任意の団体です。

PTAは「学校の最高の応援団」であり、「最高のパートナー」なのです。

2.

PTAってなあに？



最近では、取り巻く環境の変化、家庭環境の多様化により、

できる人が.....**P**erson
できる時に.....**T**ime
できることをやる.....**A**ction

という考えが広がり、出来る範囲での活動で、お互いを思いやりながら、協力していただく方が増えています。



3.

PTAって何やってるの？



PTAはPTA会員（学校に在籍している児童の保護者と教職員）の皆さまからいただいているPTA会費により運営されています。会費は主に子どもたちの「学校生活の充実」「学習環境の向上」のために使われています。組織／活動内容については各学校、年度によって異なりますが、基本的な考え方としては、

- 1** 学校運営／教職員のサポート
- 2** 家庭教育の充実
- 3** 親と子ども、親と教職員、親同士。そして地域とのコミュニケーションをはかる。

活動となっています。

4.

PTAにはどのような活動があるのですか？



1 学校運営／教職員のサポート

子どもたちが充実した楽しい学校生活を送れるような環境づくりの取り組み（子どもの見守り活動、運動会等の学校行事への参加／協力）

2 家庭教育の充実

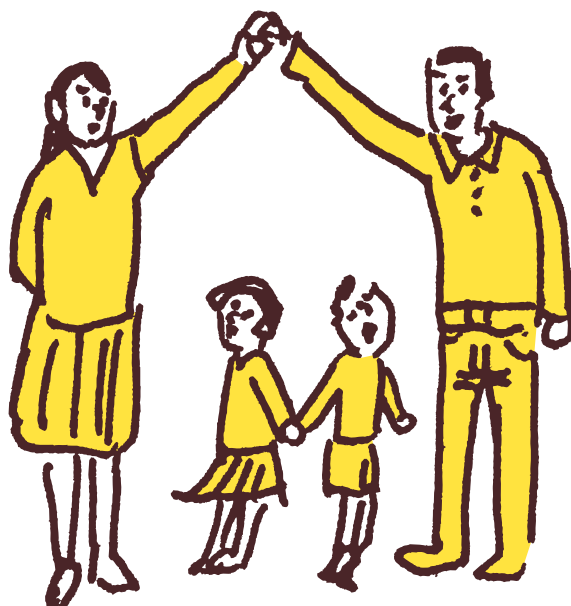
家庭でも活かせる取り組み（スマホ／タブレット夜10時電源OFF運動／早寝／早起き／朝ごはん運動等）

3 親と子ども、親と教職員、親同士。そして地域とのコミュニケーションをはかる。

PTA同士、また、地域との相互理解を図るための取り組み（各PTA独自の研修会、保護者同士の研修会、学校と連携して地域行事を支援）

5.

PTAの加入について



家庭

PTAへの加入については、個人の自由（任意加入）であり、その旨を全ての小／中学校に対して周知しております。ただし、子どもたちが安全で健やかに成長するためには、学校と保護者の連携は不可欠であり、PTAは子どもたちに必要な組織となっています。子どもたちのために、保護者と学校が自主的／協働的に進めているのがPTA活動であり、学校ごとに組織されている団体であることをご理解ください。

6.

PTA役員って？



執行部（三役）

会長、副会長、事務局（総務、庶務、会計など）からなる。

学年部

各学級委員からなる。

専門部

行事や活動内容によって分類される。

があります。

役員の人数や専門部の数、ボランティア登録制など、学校によって組織の形は違います。

7.

PTA役員になったら どうしよう



仕事やひとり親、未就学／未就園のお子さんがある、介護の必要な家族がいるなど、様々な事情があり、役員をすることに不安を感じる方もいます。役員になったからと言って、無理に仕事を休まなければならないとか、一人でやらなければならないわけではありません。「できる時に、できることをやる」、できない時は周りの方に相談しましょう。役員についても各学校により規約がありますので不安、疑問に思ったら、学校もしくはPTA事務局に問い合わせしてみてください。

8.

PTA活動に参加すると どんなよいことが？



学校に行く機会が増えると、学校での子どもの様子がよくわかるようになります。学校の先生とも話す機会が増えるので、学校のことがよくわかるようになります。また、保護者同士のつながりもできますので、子育てについて話をしたり、地域の事を知る機会が増えます。

また、PTAの行事に参加したり、運営のお手伝いをしてみると、「やっている楽しい」「やり終えたあとに充実感がある」と感じる保護者が多くいらっしゃいます。



やってよかったPTA実例①

開校1周年の記念として作った巨大壁画が、ギネス世界記録に認定されました。この壁画には、全校の子どもたちと保護者、先生方で折った3万羽を超える折り紙のハトが敷き詰められています。完成までには、地域の方をはじめ、たくさんの方々から賛同していただき、支援していただくことができました。最初は、ギネスなんて違う世界の話だと思っていた。でも、子どもたちに「やればできる」ことを感じてもらいたいという思いから、PTA役員の人みんなでたくさんの困難を乗り越えました。応援してくださったたくさんの方々の暖かさも感じました。「やればできる」を私たちも実感できた貴重な体験になりました。

やってよかったPTA実例②

私は、PTA役員を小学校で三年間、中学校で三年間務めさせていただきました。最初は大変なのだろうなというイメージもありましたが、当時、一緒に務めていた保護者の皆様、学校の先生方のお陰で無事にやり遂げることが出来ました。保護者の気持ちはみんな一緒に、子どもたちが毎日楽しい学校生活を送ってほしいという思いです。これは、役員の仕事に携わることで、より強く感じました。特に印象に残る文化祭では、試行錯誤をしながら保護者と先生方とが連携して準備をし、とても楽しい行事に仕上げることができました。こういった行事の準備で集まり、普段話せない保護者の方々や先生方との情報交換もでき、私自身も楽しい時間を過ごせました。とてもよい思い出です。



やってよかったPTA実例③

本年度は、新潟市江南区のPTA事務局を担当しました。新潟市のPTAについて、事務局として活動することで、今まで知らなかったところを知ることができました。また、コロナ禍で集まったり、直接会ったりする回数は少なかったですが、多くの学校の事務局／PTA会長の方々と話することができて、とても有意義でした。ネットワークが繋がりが広がりました。今後も新潟市のPTA活動を良く理解し、協力して取り組めるようにしていきたいと思います。

やってよかったPTA実例④

面倒、大変というイメージしかなかったPTAでしたが、先生方や地域の方々が子どもたちとどのように関わっているのか、私たちがどれだけ支えられているのかを知ることができました。そして、学校行事への参加、各学年の活動やPTA全体での講演会などに主体的に関われたことも良かったことです。大変だったことは、コロナ禍や共働き世代に対応した活動にするためにPTAの改革が必要だったことです。役員になった方は引継ぎを受けて毎年同じ行事や活動していました。それが楽だと思っていたからです。しかし、役員の負担が多いやり方がそのまま残っているような古いPTAの形でした。ところが、コロナ禍による活動制限や共働きで親が日中活動できない現状があり、学校側と調整しながら何が必要で何をやめるのかを考えて、新しいPTAの流れを作りました。仕事がある人も無理なく活動できるPTAが当たり前になることに期待しています。活動に参加した時には色々な子どもたちから笑顔をもらい、また先生方や地域の方、PTAの仲間との活動がとても楽しく、良い思い出になりました。お世話になった皆さんには本当に感謝しています。



やってよかったPTA実例⑤

昨年度と今年度の2年間、小学校のPTA会長をさせて頂きました。PTA会長のお話を頂くまで、実際PTAがどんな活動をしているのか具体的に分かっていませんでした。しかも、新型コロナウイルスにより今までできていた活動ができなくなりました。そんなこともあって、PTA会長を引き受けるのに抵抗と不安がありました。しかし、実際に会長になってPTA活動をやってみると多くの保護者と接する機会があり、学校行事に関して様々な意見交換ができました。また、市内の他の学校のPTA役員の方と交流する事で情報交換ができ、横の繋がりができたのは大きいと思います。

やってよかったPTA実例⑥

運動会で、グラウンド内に入って写真を取れるのは広報役員だけだったので、最高の場所で我が子の撮影ができ、広報委員になってよかったと思いました。パソコンを使っの編集作業では、細かい作業や編集作業が大変だったけど、PCのスキルも校閲作業も覚えてよかったです。自分達でネタを決めて取材をしたり、原稿を書いたりして発行したPTA新聞は今も記念に持っています。何より、学校の事がよくわかり、普段見れない子どもたちの活動を取材できたり、とても楽しかったです。他の委員さんもすごく良い方が多くて、学校も協力的な先生たちが多く、活動しやすかったです。だから負担はほとんど感じなかったです。



やってよかったPTA実例⑦

現在PTAの学校側の一員の私が、父親として、自分の子どもの学校のPTA副会長をしたことがありました。もちろん町内の順番で引き受けることになったわけですが…。この経験の中で良かったことは、学校や子どもの様子がよくわかり、多くの方々と新しく出会えたことです。そして、何よりも、自分の子どものために頑張っているという実感が得られました。PTA活動は、仲間づくりの第一歩です。一緒にやってみませんか。

やってよかったPTA実例⑧

今まで当たり前のように子どもの学校行事に参加できていたことが、コロナ禍により、子どもたちの学校生活を見る機会が失われ、本来なら、子どもと学校行事という場で楽しい思い出が作れていたこと、非日常の体験ができていたことの重みを感じています。多くの保護者が同じ感情を抱いている中、今年、運動会を実施したことに大きな意味があり、勇気のいることでした。コロナ禍で卒業式を迎えた時に、在校生からもらえる拍手もまばら、周りを見てもマスクで友達の表情が分からない状況で、とても寂しい思いでした。しかし、今回実施した運動会で場内パトロールをした時には、大きな歓声はなかったですが、全力で子どもたちを応援する保護者の姿、仲間の応援やチームの勝利のために全力で体を動かす子どもたちがいました。マスク姿でも、キラキラとした親子の笑顔が伝わり、やってよかったという感情が沸き上がりました。前例のない中で尽力いただいた先生とボランティアには感謝しかありません。これから、withコロナでの生活が続く中で、新しい学校行事の形を作る、子どもが笑顔になれる場を作るのは、コロナ禍を生きる私たちがやるべきことだと感じました。



やってよかったPTA実例⑨

毎年、夏休みがあける直前に、地域と協働して学校で夏祭りを開催していたが、昨年はコロナ渦で中止。本年も児童／教職員／運営するPTAを含む関係団体のみ、規模を縮小して企画したが、開催間際に感染拡大で、中止か延期を迫られました。学校と協議の上、中止ではなく、秋休みの初日に延期を決定し、同規模、時間の変更のみで実施しました。幸い、秋休みには感染が落ち着いており、久しぶりに教職員や関係団体と連携しながら、準備に汗を流し、当日は、季節外れの花火やヨーヨー釣りを楽しむ、目いっぱい子どもたちの笑顔を見ることができました。お手伝いいただいたPTAの皆様からも大変、好評をいただき、実施して、本当に良かったと思いました。

やってよかったPTA実例⑩

学校のグラウンドが狭いため、蜜を避ける狙いで、ビックスワンで運動会を開催することになりました。初めての会場であり、特に入退場管理が必要なため、PTAでボランティアを募ったところ、50名以上に参加をしていただき、当日、問題なく運営することができました。このような状況の中では、学校側だけではできないことも多くあり、PTAが協力することにより、子どもたちが全力で運動会に集中することができ、久しぶりに一生懸命に取り組む姿や、たくさんの笑顔を見ることができました。



やってよかったPTA事例⑪

昨年度、梅雨時期の集中豪雨により、雨水がグラウンドの側溝を超え、近隣の民家に流れ込むことがありました。コロナ禍のため実施しなかったグラウンド側溝清掃を毎年定期的に行うことの重要性を痛感しました。そのため、今年度は、梅雨入り前に、例年のようなPTA主体のグラウンド側溝清掃を企画し、保護者／教職員、あわせて100名以上の参加者を募り、実施することができました。これにより、梅雨時期の集中豪雨で、雨水がグラウンドの側溝を超えることはなく、無事に梅雨明けを迎えることができ、やって良かったと実感しました。

やってよかったPTA事例⑫

学校の様子は良いことも悪いことも、PTA会長と情報共有しています。ある日、PTA会長が来校されたと聞き、校長室にお招きしました。PTA会長と情報交換する中で、「SNSトラブル」が話題になりました。すると、PTA会長は「子どもたちがトラブルの加害者や被害者にならないため、すぐにでも専門家を招いて講演会をしましょう。企画運営はPTA執行部が行います」と提案してくださいました。その後のPTA会長と執行部の皆さんの対応はとても迅速かつ的確でした。お陰で、当校の高学年の子どもたちが、新潟県警の専門家からご指導をいただくことができました。「善は急げ」をPTA会長と執行部の皆様から改めて教えていただきました。

やってよかったPTA事例⑬

白根北中学校 PTA会長

小学校に比べ、中学校は授業参観が少なく、またコロナ渦で行事も縮小している為、学校に行く機会が少なく、どことなく疎遠に感じていました。しかし、三役会等で中学校に行く機会が増えてからは、校長先生をはじめ、先生方の存在が身近になり、学校の様子や、国や県、市のこれからの教育の方向性についてお話をたくさん聞かせていただけることができるようになりました。また役員では小学校では関わりのなかった他地区の保護者の方とも情報交換ができるようになり、自身のコミュニティの広がりを感じました。また、コミュニティ協議会や校医、児童館といった様々な角度から子供達と関わっている地域の方とお会いする機会もあるので、人脈も広がっているように思います。

やってよかったPTA事例⑭

白根北中学校 PTA副会長

中学校の副会長という大役に最初は荷が重いなと正直思いました。しかし引継ぎの時、前役員が丁寧に教えてくださり不安は少なくなりました。LINEでグループを作り、情報を共有出来たのも、とても良かったです。コロナ渦で例年より活動は少なかったですが合唱コンクールや役員決めの準備など、PTA役員同士の交流は頻繁にあり、校長先生から学校の子供たちの様子を伺う機会も多く、すごく有意義な時間でした。夕方、学校に行くと部活動で残っている子供たちから「こんにちは！」と挨拶されると清々しい気持ちになりました。

やってよかったPTA事例⑮

大通小学校 PTA会長

令和2年度、大通小学校もコロナの影響で毎年恒例の6送会ですら、全校の児童が集まり実施することが出来ませんでした。在校生からの出し物のお礼として、6年生が踊る「よさこい」も事前に録画して放送する形になりました。このことを事前に聞いて、何かできることはないかとPTA三役で相談し、その録画を撮影関係の仕事としているPTA役員に協力していただき、プロの撮影と編集をしてよりクオリティーの高い映像を作って、せめてもの思い出になってほしいと取り組みました。この映像を6送会にて放送。そしてその映像を卒業式に6年生の親御さんにDVDにして配布しました。とても喜んでいただき、PTA役員も達成感を味わいました。このような状況だからこそ、PTAの団結力、先生方との協力関係は逆に深まったと感じています。これからも、まだまだ先の見えない環境でPTA活動の必要性は増してくるのではないかと強く感じました。こんな気持ちを共感できる親御さんや先生方が増えると、うれしいと思っています。

やってよかったPTA事例⑬

白根北中学校 校長先生 | PTA活動への学校の声 |

新型コロナウイルス感染症の影響でPTA活動も学校行事も難しい中でしたが、予防を徹底して体育祭を行いました。事前のグラウンド整備には50人を超えるPTAの皆さんが参加され、教職員と汗を流して除草をしていただきました。おかげできれいなグラウンドで当日を迎えることができました。当日は来場者用の駐車場の整理などをPTAの皆さんから交代で行っていただきました。大きなトラブルもなく運営することができたのも皆さんのおかげです。いつもは本部席に向かって行っている応援やダンスを、今年は、皆さんへの感謝の気持ちを込めて保護者席に向かって披露しました。PTAの皆さんとともに創り上げた体育祭になりました。

当校の文化祭は地域／保護者の皆さんと創り上げる文化祭です。学校、地域、そしてPTAの皆さんと実行委員会を立ち上げ、子どものために、地域のためにと、イベントや運営の打ち合わせを行って進めます。特徴は教職員も、PTAの皆さんも「どうしたら楽しくなるか」をテーマに話し合って準備するところです。PTAの皆さんと教職員で楽しくダンスを行うなど、毎年工夫した取組を行うことで、見に来られた方だけでなく、参加したPTAの皆さんも充実感を味わえる文化祭になります。PTAの皆さんからは「関わると楽しい」との声を毎年いただきます。今後も学校とPTAが手を携え、楽しく子どものためにという活動を続けていければと思います。

当校では毎年開催する合唱コンクールに、地域／保護者の皆さんと教職員で結成した合唱団が友情出演します。例年30人を超える方から参加していただき発表します。練習はコンクールが近づいた頃、毎週1回夜に行います。日頃あまり話をしない方同士ですが、このときとばかりは、子どものこと学校のことなどの世間話をしながら楽しく練習します。ステージに上がるとみな緊張しますが、すぐに練習の成果が発揮され、子どもの合唱とはひと味違う大人の歌声が会場に響き渡ります。歌い終わり大きな拍手をいただいたときの充実感／達成感は言葉に言い表すことができません。学校、保護者、地域が一体となって行う合唱団の取組をこれからも継続していければと思います。



.....

お読みいただいた皆様の声をアンケートでお寄せください。

<https://forms.gle/S4EAGo9AVTB8Xnw1A>

.....

.....

｜お問い合わせ｜ 新潟市小中学校PTA連合会

〒950-0088 新潟市中央区万代1丁目3番30号 万代シテイビル3階

TEL: 025-242-0177 FAX: 025-242-0178

WEB: www.niigatacity-pta.jp

E-MAIL: niigatashipta@vanilla.ocn.ne.jp

.....

新潟市小中学校PTA連合会は、新潟市全体のPTA事業を進め、
各学校のPTA活動が充実したものになることを目指して活動しています。